



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 I-PEX株式会社

上場取引所 東

コード番号 6640 URL <https://www.corp.i-pex.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土山 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務統括部長 (氏名) 田籠 康利 TEL 075-611-7155

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	38,744	△2.2	1,521	63.0	1,631	131.4	889	36.9
2019年12月期第3四半期	39,613	1.1	933	△4.3	705	△30.8	650	0.5

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 33百万円 (一%) 2019年12月期第3四半期 △57百万円 (一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	47.53	—
2019年12月期第3四半期	38.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	80,762	49,360	61.0
2019年12月期	80,421	49,795	61.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 49,295百万円 2019年12月期 49,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	20.00	25.00
2020年12月期	—	5.00	—		
2020年12月期(予想)				20.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	△4.7	1,900	26.2	2,300	66.3	1,100	18.9	58.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	18,722,800株	2019年12月期	18,722,800株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	385株	2019年12月期	350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	18,722,436株	2019年12月期3Q	16,722,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

なお、業績予想の前提条件等につきましては、[添付資料] P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて大きく減速しました。先行きの不透明感は依然として継続しておりますが、7～9月期には緩やかながら回復が見られました。米国では一部の州において経済活動の規制が継続されましたが、個人消費や輸出の増加に後押しされ、景気の回復が進みました。欧州では各国のロックダウンが緩和された結果消費が回復し景気は上向きました。早期に感染の収束がはかられた中国では内需や輸出を中心に景気の回復が持続しました。

わが国では、感染拡大に伴い大きく影響を受けていた経済・社会活動が概ね再開されているものの、完全な回復までには時間を要すると見られる上、感染対策の実施状況によっては経済活動が再度制約を受ける等、今後も予断を許さない状況が続くと見られています。

このような経済環境の中、当社グループは、ノートパソコン向けコネクタの受注が引き続き堅調に推移したことに加え、第3四半期に入り、低迷していた自動車部品に回復傾向が見られたことから概ね好調に推移しました。

当社グループの電気・電子部品事業は、高周波・高速伝送特性に優れたコネクタ関連が伸長したことにより、第3四半期においても引き続き前年同期を上回る結果となりました。製品別では、細線同軸コネクタは新型コロナウイルスによる在宅勤務の普及に伴い、ノートパソコン需要が高止まりしていることから、好調な状態が継続しました。アンテナ用超小型RF同軸コネクタは、パソコンやルーター向けは堅調でしたが、スマートフォン向けが低調であったことから伸び悩みました。また、基板対基板コネクタは、5G対応スマートフォンの通信モジュールやノートパソコン向けにシールド特性に優れた高機能コネクタの採用が拡大し伸長しました。HDD関連部品は、期初に見られた新型コロナウイルスに伴うサプライチェーンの混乱が終息しつつあることに加え、サーバー向けの需要が引き続き堅調であったことから、緩やかながら回復傾向となりました。

自動車部品事業は、新型コロナウイルスの影響により世界的に自動車市場が減速したことから低迷しました。しかしながら足元では中国や北米市場を筆頭に自動車販売が回復傾向を示していることを受けて、特に第3四半期に入り、車載用センサやコネクタ等の部品需要に復調の動きが顕著に見られました。

設備事業は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気の減速が続く中、顧客の半導体メーカーが設備投資を先送りする動きを継続したことから低迷しました。足元では、車載向けパッケージ等に使用される封止装置や金型の需要に緩やかながら改善の兆しが見られました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,744百万円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益1,521百万円（前年同四半期比63.0%増）、経常利益1,631百万円（前年同四半期比131.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益889百万円（前年同四半期比36.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して340百万円増加し、80,762百万円となりました。主な増加要因は、建物及び構築物2,841百万円、機械装置及び運搬具1,936百万円、工具、器具及び備品270百万円等であり、主な減少要因は、建設仮勘定3,343百万円、現金及び預金412百万円、仕掛品287百万円等でありませ

ず。負債につきましては、775百万円増加の31,401百万円となり、主な増加要因は、賞与引当金776百万円、支払手形及び買掛金91百万円等であり、主な減少要因は、短期借入金251百万円等であります。

純資産につきましては、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加421百万円、為替レート変動の影響による為替換算調整勘定の減少762百万円等により434百万円減少し、49,360百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日に公表しました2020年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,203	11,791
受取手形及び売掛金	12,493	12,358
製品	4,301	4,157
仕掛品	3,711	3,423
原材料及び貯蔵品	2,012	1,968
その他	1,311	1,049
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	36,030	34,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,301	20,418
減価償却累計額	△9,224	△9,500
建物及び構築物（純額）	8,076	10,917
機械装置及び運搬具	39,575	42,512
減価償却累計額	△27,697	△28,698
機械装置及び運搬具（純額）	11,878	13,814
工具、器具及び備品	24,353	24,518
減価償却累計額	△22,271	△22,165
工具、器具及び備品（純額）	2,081	2,352
土地	5,615	5,597
建設仮勘定	13,672	10,328
有形固定資産合計	41,324	43,010
無形固定資産		
その他	500	445
無形固定資産合計	500	445
投資その他の資産		
繰延税金資産	35	40
退職給付に係る資産	667	617
その他	1,883	1,925
貸倒引当金	△20	△23
投資その他の資産合計	2,566	2,559
固定資産合計	44,391	46,015
資産合計	80,421	80,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,222	2,314
短期借入金	8,873	8,622
未払法人税等	160	311
賞与引当金	718	1,495
訴訟損失引当金	—	51
その他	4,492	3,908
流動負債合計	16,468	16,703
固定負債		
長期借入金	8,707	8,487
繰延税金負債	917	953
退職給付に係る負債	160	159
その他	4,373	5,097
固定負債合計	14,157	14,698
負債合計	30,626	31,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,968	10,968
資本剰余金	10,513	10,513
利益剰余金	27,337	27,759
自己株式	△0	△0
株主資本合計	48,819	49,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	10
為替換算調整勘定	△52	△814
退職給付に係る調整累計額	951	858
その他の包括利益累計額合計	909	54
非支配株主持分	66	64
純資産合計	49,795	49,360
負債純資産合計	80,421	80,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	39,613	38,744
売上原価	28,474	26,912
売上総利益	11,139	11,832
販売費及び一般管理費	10,205	10,310
営業利益	933	1,521
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	18
助成金収入	16	524
受取保険金	108	11
その他	64	23
営業外収益合計	210	578
営業外費用		
支払利息	123	146
為替差損	180	183
輸送事故による損失	67	—
寄付金	—	102
その他	66	34
営業外費用合計	438	467
経常利益	705	1,631
特別利益		
受取役員保険金	496	—
特別利益合計	496	—
特別損失		
投資有価証券評価損	53	—
減損損失	168	129
訴訟損失引当金繰入額	—	51
社葬関連費用	62	—
特別損失合計	285	180
税金等調整前四半期純利益	915	1,451
法人税、住民税及び事業税	231	521
法人税等調整額	35	42
法人税等合計	266	563
四半期純利益	648	887
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	650	889

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	648	887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	0
為替換算調整勘定	△653	△762
退職給付に係る調整額	△56	△92
その他の包括利益合計	△705	△854
四半期包括利益	△57	33
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55	34
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,023	15,851	1,737	39,613	—	39,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	536	14	84	634	△634	—
計	22,560	15,866	1,821	40,248	△634	39,613
セグメント利益	2,328	1,065	55	3,449	△2,516	933

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,516百万円は、セグメント間取引消去23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,539百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電気・電子部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において89百万円であります。

「自動車部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において79百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,554	12,854	1,336	38,744	—	38,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	360	60	0	421	△421	—
計	24,915	12,914	1,336	39,166	△421	38,744
セグメント利益又は損 失(△)	4,310	△170	△58	4,081	△2,560	1,521

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,560百万円は、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,576百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電気・電子部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において129百万円であります。